在宅取組型+体験活動参加型(小学校)

学 校 名	揖斐川町立大和小学校
実施日時	夏季休業中
会場	各家庭で実施
参加人数	全校親子で参加(保護者103名・児童152名)
学習課題(分野)	夏休み親子クッキング!
運営者の願い	大和小学校では、食育に力を入れています。子どもが食への関心を高め、自分でよりよい食生活を身に付けていくためには、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが重要です。 家庭教育学級では、年間を通して食育に関わる内容で活動しています。

学習の内容

<活動内容>

- 1 夏季休業中に、各家庭で「親子クッキング!」にチャレンジし、「親子クッキングレポート」を作成(A4 版 1 枚)し、夏季休業後に提出する。
 - ・作った料理や作っているときの様子が分かるイラストや写真
 - ・子どもの感想・・・・・ チャレンジしたこと、工夫したこと
 - ・親の感想・・・・・・ ほめてあげたいこと
- 2 母親委員会で、「親子クッキングレポート」を学年ごとに廊下に掲示し、取組 の成果を交流する。

<子どもの感想・・・・・ チャレンジしたこと、工夫したこと>

- ・ぼくは、韓国風「おにぎらず」を作りました。夏の親子料理教室で習った からです。だから、自分で作りたいと思いました。じょうずに作れたから よかったです。
- ・ししゃもがこげないようにうら返したり、火を弱めたりする所を工夫しま した。目玉焼きは、黄身がつぶれてしまったので次チャレンジしたいです。

<保護者の感想・・・・・ほめてあげたいこと>

- ・教えてもらったことをすぐに自分でやってみようと思うなんてすごくすてきなことだね。さすが2回目ということで、とてもスムーズに作れました。味もとてもおいしく、栄養バランスも OK!また作ってね。
- ・自分から進んで身支度を早く行い、料理に取り掛かることができました。包丁の使い方も覚えて、 野菜の切り方も考えながらできました。「次何や るの」と意欲的な姿が嬉しかったです。

3「親子クッキング!」と併せて「めざせ!大和クッキングマイスター」に取り組む。

- ・家庭での食育の場の一つが台所での「手伝い」で あるととらえ、手伝い段級表をつくり、親子で目 標を決めて親子クッキングに取り組む。
- ・段級表は、低学年レベル($10\sim7$ 級)・中学年レベル($6\sim4$ 級)・高学年レベル($3\sim1$ 級・初段)に分け、全 48 項目を設定。
- ・6年間、1枚の段級表に記録し、成長が分かるようにする。

<子どもの感想> 4年・5年の記録

- ・お手伝いをしながらすすめることができました。もうすぐ 5 年生になるから包丁をこわがらずに使いたいと思いました。
- やっと包丁が使えるようになってきてよかったです。

<おうちの人から> 4年・5年の記録

- ・包丁がこわくてまだ使うことができないので、これからもお手伝いをして少しずつできるようになるといいと思います。
- ・前回と比べて、できることが増えてきました。これからもがんばってほしいです。



<掲示をして交流「次は ○○を作ってみたい な」という意欲に>

クッキングレポートを 学年ごとに掲示し、交流 します。同じ学年や上級 学年の実践を見ること が、子どもの「次は〇〇 を作ってみたいな」とい う意欲につながります。





<お手伝いに楽しく取り 組め、生活実践力が身 に付きます>

段級表で、台所でのお 手伝いがどの程度できる とよいのかが学年に応じ て分かります。目標をも って「親子クッキングき」 に取り組むことができま 生活実践力が身に付きま す。





<親子、家族のあたたか なつながり>